

2019年度 保育所の自己評価について

新鶴見はなかが保育園

【本園の保育方針と保育目標】

心・技・体を育み、子どもの個性と可能性を拓ける

- ・心身ともに健やかな子ども
- ・優しい心、思いやる心、道徳心のある子ども
- ・基本的な生活習慣やマナーを身につける
- ・丈夫な体づくり
- ・就学に向けての基礎を学ぶ

【今年度の課題】

1. 遊びの環境を工夫し、自分で考え発展した遊びに繋げられるようにする
2. 異年齢児や縦割り保育を取り入れ、相手を思いやり、優しい心・気持ちをより育む
3. 誰もが安心して子育てができるコミュニティの拠点作りを目指す

【取り組み状況】

1. 玩具の点検、片付け方や年齢に沿った形での玩具の提供は出来たが、自分たちで考えて遊び込むまでに発展させることは出来なかった。廃材遊びや自由に出し入れできる材料、玩具などを用意し遊びを発展させていきたい
2. 朝礼や縦割り保育を通して異年齢児との関わりを多く持つことが出来たことで、優しく接したり、自分のすべきことが分かるようになってきた。今後も関わりを増やし心の育みを行っていきたい
3. 安心して子育てができるコミュニティの場となる様、試行錯誤して育児講座などを行った結果、人数が集まるようになってきた。地域の方々や園児の保護者にもっと知ってもらう方法を考えていきたい

【2020年度の課題】

1. 人との関わりの中で、人に対する愛情や信頼感を育てると共に信頼に基づく保育を行う
2. 生活・自然の中で様々な体験を通し、豊かな感性や表現力を養い、創意工夫ができる力を育む
3. 食事をすることの意味を知り感謝の気持ちを持って食事が出来る様にしていく